



平成30年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月13日

上場会社名 株式会社 カワサキ
 コード番号 3045 URL <http://www.kawasaki-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 堀田 義行
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日 配当支払開始予定日 平成30年5月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 072-439-8011

平成30年5月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第2四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第2四半期	1,012	0.1	109	9.7	110	23.2	69	22.4
29年8月期第2四半期	1,022	2.5	120	7.9	143	171.1	90	190.0

(注) 包括利益 30年8月期第2四半期 69百万円 (22.4%) 29年8月期第2四半期 90百万円 (190.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第2四半期	32.50	
29年8月期第2四半期	41.90	

(注) 当社は、平成30年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第2四半期	6,457	3,869	59.9
29年8月期	6,014	3,817	63.5

(参考) 自己資本 30年8月期第2四半期 3,869百万円 29年8月期 3,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期		17.50		17.50	35.00
30年8月期		25.00			
30年8月期(予想)				12.50	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成29年8月期及び平成30年8月期第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。平成30年8月期の期末配当につきましては、株式分割後の金額を記載し、年間配当金合計額は、単純に合算できないため、「-」と記載しております。

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,187	10.5	215	10.5	215	12.5	128	17.5	59.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成30年8月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年8月期2Q	2,901,000 株	29年8月期	2,901,000 株
期末自己株式数	30年8月期2Q	752,192 株	29年8月期	752,192 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年8月期2Q	2,148,808 株	29年8月期2Q	2,148,808 株

(注)当社は、平成30年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などに不安定要素があるものの、政府の各種政策の効果による企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調となりました。

このような状況下、当社グループの服飾事業におきましては、利益体質の強化を図るため、不採算店舗からの撤退や一層のコストダウンの推進、更には販売在庫品目の整理等に取り組みました。賃貸・倉庫事業におきましては、平成29年10月に新倉庫の取得を行うとともに、平成30年2月には所有する倉庫の建屋の屋根を活用した太陽光発電事業を開始し、発電した電力の全量を売電するなど、更なる事業拡大に取り組みました。しかしながら、当第2四半期連結累計期間の連結業績は売上高1,012,613千円(前年同四半期連結累計期間比1.0%の減少)、営業利益109,042千円(前年同四半期連結累計期間比9.7%の減少)、経常利益110,158千円(前年同四半期連結累計期間比23.2%の減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益69,843千円(前年同四半期連結累計期間比22.4%の減少)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①服飾事業

当事業部門におきましては、不採算店舗からの撤退や一層のコストダウンの推進、販売在庫品目の整理による利益体質の強化を図りました。その結果、売上高は622,140千円(前年同四半期連結累計期間比6.3%の減少)となったものの、営業損失が16,067千円(前年同四半期連結累計期間は営業損失43,511千円)と大きく改善いたしました。

②賃貸・倉庫事業

当事業部門におきましては、平成29年10月に新倉庫の取得を行うとともに、平成30年2月には所有する倉庫の建屋の屋根を活用した太陽光発電事業を開始し、発電した電力の全量を売電するなど、更なる事業拡大に取り組みました。その結果、売上高は390,473千円(前年同四半期連結累計期間比8.9%の増加)となったものの、新倉庫の取得に関連する費用が増加し、営業利益は124,549千円(前年同四半期連結累計期間比23.9%の減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて94,374千円(9.3%)減少し、924,732千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が71,058千円、商品及び製品が37,323千円それぞれ減少したことによるものであります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて537,677千円(10.8%)増加し、5,533,212千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が394,003千円、太陽光発電設備の取得等によりその他(機械装置及び運搬具)が83,637千円それぞれ増加したことによるものであります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて80,267千円(6.2%)増加し、1,377,192千円となりました。この主な要因は、短期借入金が100,000千円、1年以内返済予定の長期借入金が54,760千円それぞれ増加し、未払法人税等が43,030千円減少したことによるものであります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて311,955千円(34.7%)増加し、1,211,727千円となりました。この主な要因は、長期借入金が265,800千円、資産除去債務が45,055千円それぞれ増加したことによるものであります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて51,080千円(1.3%)増加し、3,869,024千円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を69,843千円計上したものの、配当による減少18,802千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月期決算発表時(平成29年10月12日)の予想を変更していません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	199,455	128,397
受取手形及び売掛金	107,727	118,220
商品及び製品	551,689	514,365
原材料及び貯蔵品	66,769	61,837
通貨スワップ契約等	-	163
その他	94,153	102,122
貸倒引当金	△689	△373
流動資産合計	1,019,106	924,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,743,950	2,137,953
土地	3,022,595	3,019,095
その他(純額)	25,410	109,047
有形固定資産合計	4,791,955	5,266,097
無形固定資産	18,857	52,185
投資その他の資産		
その他	185,872	216,081
貸倒引当金	△1,151	△1,151
投資その他の資産合計	184,721	214,929
固定資産合計	4,995,535	5,533,212
資産合計	6,014,641	6,457,944

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,867	14,186
短期借入金	800,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	147,340	202,100
未払費用	34,252	34,644
未払法人税等	78,623	35,593
賞与引当金	3,435	3,531
通貨スワップ契約等	86	-
その他	222,320	187,136
流動負債合計	1,296,925	1,377,192
固定負債		
長期借入金	379,250	645,050
役員退職慰労引当金	193,583	194,683
資産除去債務	127,584	172,639
その他	199,354	199,354
固定負債合計	899,772	1,211,727
負債合計	2,196,697	2,588,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,300	564,300
資本剰余金	468,338	468,338
利益剰余金	3,261,203	3,312,244
自己株式	△476,131	△476,131
株主資本合計	3,817,710	3,868,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233	273
その他の包括利益累計額合計	233	273
純資産合計	3,817,944	3,869,024
負債純資産合計	6,014,641	6,457,944

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
売上高	1,022,539	1,012,613
売上原価	493,947	525,639
売上総利益	528,591	486,974
販売費及び一般管理費	407,849	377,931
営業利益	120,742	109,042
営業外収益		
受取利息	137	0
補助金収入	5,647	-
為替差益	12,624	1,082
その他	6,903	1,335
営業外収益合計	25,313	2,418
営業外費用		
支払利息	1,487	1,295
支払手数料	600	-
その他	615	7
営業外費用合計	2,703	1,302
経常利益	143,352	110,158
特別損失		
固定資産売却損	-	1,740
固定資産除却損	0	-
店舗閉鎖損失	3,702	894
特別損失合計	3,702	2,634
税金等調整前四半期純利益	139,649	107,523
法人税、住民税及び事業税	49,050	29,780
法人税等調整額	557	7,900
法人税等合計	49,607	37,680
四半期純利益	90,041	69,843
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	90,041	69,843

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	90,041	69,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	39
その他の包括利益合計	14	39
四半期包括利益	90,056	69,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,056	69,882
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	139,649	107,523
減価償却費	79,625	92,892
支払利息	1,487	1,295
為替差損益(△は益)	19,208	△988
売上債権の増減額(△は増加)	△31,258	△10,493
たな卸資産の増減額(△は増加)	17,042	42,256
仕入債務の増減額(△は減少)	13,164	3,318
通貨スワップ契約等の増減額(△は減少)	△32,040	△249
その他	149,583	△87,918
小計	356,463	147,636
利息及び配当金の受取額	137	0
利息の支払額	△1,531	△1,307
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	14,283	△69,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	369,353	76,376
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△820	△511,299
無形固定資産の取得による支出	-	△13,291
差入保証金の差入による支出	-	△28,050
差入保証金の回収による収入	2,890	700
その他	△10	1,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,060	△550,181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△350,000	100,000
長期借入れによる収入	300,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△105,740	△79,440
配当金の支払額	△34,918	△18,802
財務活動によるキャッシュ・フロー	△190,658	401,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,208	988
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	161,547	△71,058
現金及び現金同等物の期首残高	162,133	199,455
現金及び現金同等物の四半期末残高	323,681	128,397

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。